

重点事業の体系

施策Ⅳ－２ ICTを活用した効率的な組織内の情報伝達手段の確立

重点事業Ⅳ－２－① アプリケーション等の適切な手法による情報提供の推進

重点事業Ⅳ－２－② デジタルシステムの整備推進

重点事業Ⅳ－２－① アプリケーション等の適切な手法による情報提供の推進

1 日本連盟のこれまでの主な取組み

- 長い間、日本連盟から各加盟員への情報提供は、機関誌「SCOUTING」のほか、メール等を用いて県連盟－地区を経由する形で行われてきました。また、日本連盟の Web サイトを通じての情報提供も行われていますが、そこに掲載される情報は十分とはいえません。
- 公式 SNS については、2012 年に facebook ページや Twitter、2017 年には Instagram を開設して情報提供を補完する機能を担いましたが、フォロワー数は 1.0～1.7 万程度にとどまっています。
- 2022 年には、総務委員会内に加盟員全体への情報提供のあり方を見直す「情報伝達システム分科会」が発足し、公式アプリケーションと Web サイトの運用を軸にした新しい情報提供のかたちを検討しています。
- 日本連盟主催の一部の事業では、事業主旨や展開手法などをオンライン会議形式で全国に提供することが実施され始めましたが、情報提供の主流はまだテキスト（文書）での共有です。

2 2032 年度の姿（この 10 年で取組むこと）

○スマートフォン用公式アプリケーションと Web サイトを通じて、加盟員、保護者、支援者、その他ボーイスカウト運動に興味がある全ての人が、日本連盟から発出された情報を得られる状態になっている（主：広報担当、従：DX 担当）

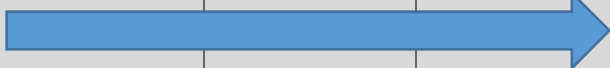

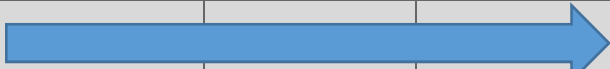
3 主な成果指標

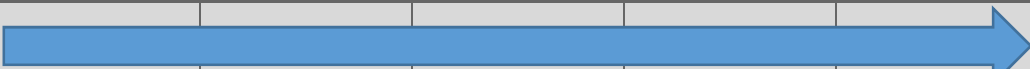


	現状（2022 年）	5 年後（2027 年）	10 年後（2032 年）
アプリ DL 数	実施していない	60,000 件	100,000 件
同アクティブユーザー数(MAU)	実施していない	50,000	70,000
日本連盟 Web サイトページ別訪問数	264 万	400 万	400 万

（日本連盟の加盟員数は 80,000 人を維持し続けると仮定して算出）

4

計画期間の主な取組み

主な取組み	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027) 計画見直し年	
アプリケーションの開発と新しいWebサイトの運用	アプリの開発、新Webサイト運用→県連盟への周知	アプリ・Webサイトの保守・更新と機能の見直し				DL数 60,000 MAU 50,000
アプリケーションの普及と広報	コンテンツ制作 広報開始	コンテンツ見直し				
日本連盟役員等の積極的で効果的な情報提供への意識の向上	マニュアルの作成→周知	好事例の共有など				

主な取組み	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032) 計画最終年
アプリケーションの開発と、新しいWebサイトの運用					DL数 100,000 MAU 70,000
アプリケーションの普及と広報					
積極的で効果的な情報提供への意識の向上					

重点事業Ⅳ－２－② デジタルシステムの整備推進

1 日本連盟の現状とこれまでの主な取組み

- 2021年度から新しい登録システムの開発を進め、2023年4月から稼働しています。
- この登録システムを基盤とした、ジャンボリーなどの事業への参加管理のための「事業管理機能」、指導者の研修歴等を管理する「研修履歴管理機能」、スカウトの進捗状況等を管理する「進捗管理機能」などの周辺機能の開発を計画しています。

2 2032年度の姿（この10年で取組むこと）

- スカウト運動にかかわる全ての人に対して、時代に即した手法で情報の共有が図られている。（主：DX担当）
- 日本連盟主催事業の参加者管理のための「事業管理機能」、指導者の研修歴等を管理する「研修履歴管理機能」、スカウトの進捗状況等を管理する「進捗管理機能」が整備され、加盟員が活用している。（主：DX担当、副：プログラム担当、AIS担当）
- 情報伝達アプリが加盟員に普及し、必要な情報が、必要な時に必要な人に届けられている。（重点事業Ⅳ－２－①を参照）（主：広報担当）
- e-learningプラットフォームが整備され、各種資料がいつでも閲覧できている。併せて技能章の考査が、オンラインでもできるようになっている。（主：プログラム担当）


3 主な成果指標

	現状（2022年）	5年後（2027年）	10年後（2032年）
新登録システム（2023年4月稼働）に紐づいた、事業管理機能、研修履歴管理機能、進捗管理機能の整備	新登録システム 開発中	事業管理機能稼働 （2025年） 研修履歴管理機能 （2027年） 進捗管理機能 （2027年） 稼働	それぞれの機能の安定的稼働

4

計画期間の主な取組み

主な取組み	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027) 計画見直し年
新登録システムに紐づいた、事業管理機能、研修履歴管理機能、進歩管理機能の整備	新登録システム稼働		事業管理機能リリース		研修履歴管理機能、進歩管理機能リリース

主な取組み	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032) 計画最終年
新登録システムに紐づいた、事業管理機能、研修履歴管理機能、進歩管理機能の整備	システムの安定運用				



ボーイスカウト日本連盟

100年のあゆみ

新たな100年に向けての挑戦

妄想するよりは活動せよ。
疑惑するよりは活動せよ。
話説するよりは活動せよ。

初代総裁/初代総長
後藤 新平
(1857~1929)



第3代総裁
植村 甲午郎
(1894~1978)



何事も付け焼き刃では
モノにならない

人柄や能力は、
こどものころの体験が大事。
好奇心や冒険心を育てることが、
豊かな人間を作るのだ。

第5代総裁(代行)
井深 大
(1908~1997)



歴代総裁とその「ことば」たち

健康で、意欲的で。知識と活動力の
旺盛な若者たちが、身の危険を冒して
それにぶつかっていくのも、
一つの経験への憧れなのである。



第2代総裁
石坂 泰三
(1886~1975)



第4代総裁
土光 敏夫
(1896~1988)

失敗は終わりではない。
それを追求していくことによって、
はじめて失敗に価値が出てくる

第6代総裁
御手洗 富士夫
(1935~)



(機関誌SCOUTING 2021年5月号より)